

# 福智町議会だより

Fukuchi Town Council News



## どうなる!? 公共施設、統廃合

空きスペースが多く、施設の維持費が問題になっている方城・赤池支所。その他にも町内には多くの公共施設があり、今後住民サービスを低下することなく、いかに施設の統廃合を進めていくのが課題となっています。



Vol.2  
2008.3

主な内容

平成19年12月定例会  
審議結果・各委員会報告・一般質問

# 総務文教常任委員会報告 委員長 池永利治

## 〔付託された案件〕

- ・議案第64号 福智町学校給食センター設置条例の全部を改正する条例について
- ・議案第67号 平成19年度福智町一般会計補正予算(第3号)について
- ・請願第4号 市場小学校の屋外運動場に関する請願書

## 〔審査結果〕

各担当課より詳しく説明を求め、慎重に審査をおこなった結果、付託された2件の議案については可決、請願については採択すべきものと決定しました。また、「議案第70号:町道路線の認定」について説明を受け、質疑をおこないました。主な意見・質疑は次のとおりです。



**問** 給食施設の名称は統一できないか。

**答** 県に相談して対応したい。

**問** 方城の給食センターもかなり古いので、建替えはできないか。

**答** 建替えを含めて検討したい。

**問** 9月に取り下げた赤池給食センターの件については、話し合いをしているのか。

**答** 保護者会と2回ほど話し合いをした。

**意見** 議案第70号の町道路線の認定についてはバリアフリー、安全面に充分注意し、保護者・学校と充分連携しやっていただきたい。

**意見** 教育だけ優先ということではなく、色々な要望について、バランスを取り対応してほしい。

# 厚生常任委員会報告 委員長 堀江政洋



## 〔付託された案件〕

- ・議案第67号 平成19年度福智町一般会計補正予算(第3号)について
- ・議案第68号 平成19年度福智町国民健康保険特別会計補正予算(第1号)について
- ・議案第69号 平成19年度福智町水道事業会計補正予算(第2号)について
- ・陳情第2号 国の療養病床の廃止・削減計画の中止等の意見書採択等を求める陳情
- ・陳情第3号 乳幼児医療費助成制度の創設等を求める陳情
- ・陳情第4号 後期高齢者医療制度に関する陳情

## 〔審査結果〕

各担当課より詳しく説明を求め、慎重に審査をおこなった結果、付託された3件の議案については可決、陳情3件については採択すべきものと決定しました。また、「議案第70号:町道路線の認定」について説明を受け、質疑をおこないました。主な意見・質疑は次のとおりです。

**問** 配水管漏水修理の箇所は。

**答** 1箇所20万円が30箇所を想定している。

**問** 漏水の量がかなりあるがどうするのか。

**答** H20年度から老朽管を順次更新していきたい。金田地区は合併前に漏水調査をしたが、赤池・方城については実施していないので、実施をし、有収率を県平均程度にまで近づけていきたい。

**問** 住民からの漏水等の連絡に対して回答がないが。

**答** 今後連絡をいただいた方には事後報告をしたい。

**意見** 漏水は徹底的に調査し、無駄をなくしてほしい。

**問** 町立老人ホームは民にするのが官なのか。

**答** 財政面でいえば民間にするほうがいいといえる。

**問** 町立老人ホームの問題について早急に解決してほしい。

**答** 検討委員会の結論がずれ込んでいるが、それを受けて結論を出し、議会にも報告してご意見をいただきながら最終的な結論として対処したい。

**問** 第一保育所の経過について。

**答** 地域の方と意思の疎通を図りながら話をしているが、まだ結論には至っていない。

**意見** 福智町の保育がどうあるべきかを全体として考えるべき。

**【議案第70号について】**

**問** 歩道は寂しいところに計画をされているが保安策は。

**答** 学校に十分周知をして安全対策をとりたい。

**意見** 通学路の安全については、保護者の意見も踏まえて十分検討してほしい。

# 12月

## 定例会報告

平成19年第4回定例会が12月4日～12月12日まで9日間の会期で開催され、議案8件をはじめ請願・陳情などが審議されました。結果は次のとおりです。

### 会期日程

- 12月 4日[火] 本会議(第1日)
- 12月 5日[水] 総務文教常任委員会
- 12月 6日[木] 産業建設常任委員会
- 12月 7日[金] 厚生常任委員会
- 12月 8日[土]・12月 9日[日] 休会
- 12月10日[月] 各常任委員会予備日
- 12月11日[火] 本会議(第2日)
- 12月12日[水] 本会議(第3日)

### 平成19年第4回定例会審議結果

#### 【議案第63号】

福智町個人情報保護条例の一部を改正する条例について  
...12月12日 原案可決  
日本郵政公社の民営化に伴い、条例の一部を改正しました。

#### 【議案第64号】

福智町学校給食センター設置条例の全部を改正する条例について  
...12月12日 原案可決  
給食センターの運営については、給食センター運営委員会と協議されてきましたが、金田小・中学校の給食室も含めて一体的に協議していく必要があるため、条例の全部を改正しました。

#### 【議案第65号】

福智町国民健康保険税条例の一部を改正する条例について  
...12月12日 原案可決  
国民健康保険法施行令の一部が改正されることに伴い、福智町国民健康保険税条例の一部を改正しました。

#### 【議案第66号】

福智町コミュニティセンター条例の一部を改正する条例について  
...12月12日 原案可決  
福智町コミュニティセンター(ふじ湯の里)の拡張工事が完了したことに伴い、その利用料金を定めるため、条例の一部を改正しました。

#### 【議案第67号】

平成19年度福智町一般会計補正予算(第3号)について  
...12月12日 原案可決  
予算の総額に、歳入歳出それぞれ1億7406万9千円を追加し、予算の総額が歳入歳出それぞれ147億5995万7千円となりました。



#### 【議案第68号】

平成19年度福智町国民健康保険特別会計補正予算(第1号)について  
...12月12日 原案可決  
予算の総額から、歳入歳出それぞれ8839万7千円を減額し、予算の総額が歳入歳出それぞれ31億1856万9千円となりました。

#### 【議案第69号】

平成19年度福智町水道事業会計補正予算(第2号)について  
...12月12日 原案可決  
収益的収入の予算額5億8076万7千円に760万円を追加し、収益的収入の予算額が5億8836万7千円となり、収益的支出の予算額5億8076万7千円に1127万1千円を追加し、収益的支出の予算額が5億9203万8千円となりました。

#### 【議案第70号】

町道路線の認定について  
...12月12日 原案可決  
生力石松線歩道新設に伴い、路線の認定をしました。

#### 【請願第4号】

市場小学校の屋外運動場に関する請願書  
...12月12日 採択

#### 【陳情第2号】

国の療養病床の廃止・削減計画の中止等の意見書採択等を求める陳情書  
...12月12日 採択

#### 【陳情第3号】

乳幼児医療費助成制度の創設等を求める陳情  
...12月12日 採択

#### 【陳情第4号】

後期高齢者医療制度に関する陳情書  
...12月12日 採択

#### 【選挙第7号】

田川地区清掃施設組合議会議員の選挙について  
...12月12日 決定  
田川地区清掃施設組合議会議員に安永榮一議員が決定しました。

# 産業建設常任委員会報告

委員長 大島 勇夫

## 〔付託された案件〕

- ・議案第66号 福智町コミュニティセンター条例の一部を改正する条例について
- ・議案第67号 平成19年度福智町一般会計補正予算(第3号)について
- ・議案第70号 町道路線の認定について

## 〔審査結果〕

各担当課より詳しく説明を求め、慎重に審査をおこなった結果、付託された3件の議案については可決すべきものと決定しました。主な意見・質疑は次のとおりです。



現地視察(柳ヶ谷)

**問** 町道路線について青写真はできているのか。

**(答)** まだできていない。県と合議して2ヶ年計画で整備をしたい。

**問** 柿添団地はいつごろになるのか。

**(答)** 建築基準法の改正により確認申請業務が遅れている。12月末か1月初めに申請がおりるのではないかと考えている。

**問** 入札時にくじびきが多いが、これでいいのか。

**(答)** 批判の声も聞いている。今後再検討で考えていきたい。

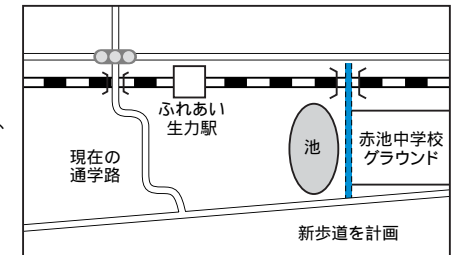
**意見** 最低価格を上げることは賛成だが、最低価格の公示はしたほうがよいのでは。

**意見** 指名競争入札から一般競争入札に変更となり、業者間ではかなり動揺があると思う。賛否両論あるが、十分検討し、町として責任ある入札制度を考えていただきたい。

## 議案第70号

### 町道路線の認定とは・・・

現在、市場小学校・赤池中学校の児童が、通学路として利用している町道屋敷・猿田線は、道路幅が狭く危険な状態のため、地元の区や教育委員会等から道路拡幅・歩道設置の要望が出ました。しかし、拡幅に伴う用地買収や家屋移転等、多くの課題があり、この路線に歩道を設置することが困難と予測されるため、赤池中学校グラウンド横に新たな歩道を新設する計画を立て、その歩道を町道として認定するよう議会の議決を求めたものです。



12月定例会にはたくさんの方が傍聴に来ました。

◆本会議傍聴者数 42人 ◆各常任委員会傍聴者数 12人

※延べ人数です



平成19年12月5日付で、矢野博文氏が議員を辞職し、議員19人の議会構成となりました。

今後は、議員の資質向上および職務を誠実に遂行し、福智町の発展並びに町民の皆様様の要望や意見等を町政に反映させていく所存でありますので、議会運営にご理解とご支援をお願いいたします。

辞職に伴い次の変更がありました。

- ・安永榮一議員が田川地区清掃施設組合議会議員となりました。
- ・吉田剛議員が厚生常任委員会より産業建設常任委員会へ変更となりました。それに伴い、議会運営委員会委員を辞職し、新たに杉本数男議員が選任されました。

福智町議会議長 大島 道人

# 一般質問

掲載文字数に制限があるため、質問事項の多くを省略しています(ご了承ください)。詳細については、議会事務局に保管しています(お問い合わせください)。



議員 公弘 属

**質問** 行政改革推進について推進委員会へ諮問したとありますが、誰が推進委員会を作り、どうするのかについてをお聞かせください。

**回答** 「総務課長」 福智町の行政改革については、町長が行政改革をやらなければいけないということ、町長の諮問に基づきまして推進委員会を立ち上げました。

**質問** ふじ湯の里や日王の湯が赤字になったとき、負債を抱えたときはどうするのかをお聞かせください。

**回答** 「総務課長」 ふじ湯の里は指定管理者制度、日王の湯は町営でやっていますので、赤字が出れば町が負担するというような形になります。社会福祉協議会については別法人です。町に補助金を求めるというような形が出てくるかと思えます。

**質問** 合併して1年8カ月合併後に、人員が増えている。部署も26ある。それをどう削減するか。

**回答** 「総務課長」 新町合併計画では、半数の職員を採用するというような形になっており、

**質問** 赤池給食センター。文部科学省、保健所、いろいろ指導を受ける中で320㎡の企画が740㎡に増えたと返事をいただいたのですが、誰が740㎡にしたのですか。

**回答** 「学校教育課長」 このセンターの建設に關しまして、我々もいろいろ資料、勉強調査しました。その結果、誰の責任かと申しますと、当然担当課長として私がその責任についております。だから責任上では私の責任だと感じております。

**質問** 「教育長」 給食センターの件で大変迷惑をおかけしてありますが、係長、課長を通じて設計図等が上がってきたときに、私も確か

ますが、本年度それを大きく控えて、採用をできるだけ行わない、2分の1以下に抑えるということを念頭に上げて取り組んでおります。

**質問** 家賃と水道代の滞納は、去年より増えたのでしょうか。

**回答** 「住宅課長」 合併時点から18年度分は増えております。徴収の強化をしまして現在では昨年よりも徴収率は上回っております。

**質問** 「水道課長」 合併時よりは増額して、ただ、このままでは徴収率の向上は望めませんので、給水停止を前提とした徴収体制で今度計画をしております。

**質問** 最終的にこの件(市場床版工事)について、やめた人間であつても福智町としてどうするのかな対応をするのか。

**回答** 「副町長」 この件につきまして、一般的に「いえること」なんです。非違行為といいますが、不適切なことがあつたら厳正に対処しなければならぬというはまされぬことでございまして、再度調査いたしまして、そのような事実があるとすれば提訴もやむを得ないというふうにご考えております。

に印鑑を押して認めておりますので、一課長のこれは責任ではありません。私の責任でございます。

**質問** 市場床版問題ですが、工事を正当化するようなことを言うけれど、あれは間違っていないか、ということに關しては、私個人としては別の方法もあつたんじゃないかというふうに思っています。手続におきましては、まず区からの要望等についての確認をきちっとするべき問題もあつた。また、工事にかかるとは本来基本的には地元の関係者なり周辺の地域の方には説明をして、そして工事の計画なり着工に入るものでございまして、そういう基本的なことを急ぐたということに対しては、手続上の不備があつたというふうにご考えます。

**質問** 「建設課長」 工法が妥当だったかどうかということに關しては、私個人としては別の方法もあつたんじゃないかというふうに思っています。手続におきましては、まず区からの要望等についての確認をきちっとするべき問題もあつた。また、工事にかかるとは本来基本的には地元の関係者なり周辺の地域の方には説明をして、そして工事の計画なり着工に入るものでございまして、そういう基本的なことを急ぐたということに対しては、手続上の不備があつたというふうにご考えます。

**質問** 最終的にこの件(市場床版工事)について、やめた人間であつても福智町としてどうするのかな対応をするのか。

**回答** 「副町長」 この件につきまして、一般的に「いえること」なんです。非違行為といいますが、不適切なことがあつたら厳正に対処しなければならぬというはまされぬことでございまして、再度調査いたしまして、そのような事実があるとすれば提訴もやむを得ないというふうにご考えております。



浦田孝一 議員

**質問** 町営住宅についてお尋ねします。条例では総戸数1975戸とありますが、県営住宅を含めた公営住宅は、全世帯に対して何割に相当しますか。また、町営住宅の建て替えが行なわれていますが、住宅困窮者、財政状況等、総合的に見て、福智町における町営住宅の戸数は、何戸くらいが理想であるかお尋ねします。

**回答** 「住宅課長」 福智町が管理する町営住宅は1975戸、県営住宅は310戸（旧赤池町144戸・旧金田町50戸・旧方城町116戸）で、総計2285戸あります。平成19年11月末の福智町世帯数が1万1130世帯ですので、町営住宅が占める割合は17.75%、県営住宅を含めると20.53%となります。また、理想の戸数ですが、将来、少子高齢化による人口の減少が予想されますので、現在の管理戸数を維持しながら、古い住宅から公営住宅ストック総合活用計画で、建て替えを行なっていきたくと考えています。ちなみに、近隣市町村での公営住宅の割

合は、田川市20.9%・香春町12.8%・漆田町19.8%・糸田町17.5%・川崎町27.1%・大任町20.9%・赤村9.3%となっております。

**質問** 町営住宅で空き家が発生した場合の対応についてお尋ねします。推薦入居等で、特定の人が頼めばできるというようなことを聞きたいのですが、次の入居者はどのように選考し、決定しているのか。住宅によって違いがあるのか。地域等の推薦入居があるのか、その場合誰がどのような方法で推薦をしているのか。入居者の資格基準は、この4点についてお尋ねします。

**回答** 「住宅課長」 入居資格・決定は福智町条例及び施行規則に基づいて行なっています。町営住宅には、同和地区の住民の生活環境、社会福祉の増進、社会的・経済的地位の向上を図ることを目的とした、同和対策特別措置法で形成されたものがあります。これについては、同和対策特別措置法に關係する組織からの推薦も受けています。旧町時代からの慣例で行政区の推薦団地もあります。



平成17・18年度で建て替えられた赤池団地



平成17・18年度で建て替えられた小豆田団地



高津鶴己 議員

**企業誘致について**  
**質問** 税収の向上・雇用確保という観点からも企業誘致は必要不可欠だと考えますが、現時点で企業誘致は進んでいますか。  
**回答** 「町長」 平成19年9月26日より旧赤池町の工場団地で、株式会社東洋製作所住宅関連機器・医療機器の精密部品加工が事業を開始しています。また、ロボット産業の先進的な企業である安川電機トヨタ自動車九州なども、誘致の働きかけを行なっています。

**質問** 企業誘致は長期的かつ水面下の部分もあるのかと思います。研修と称して企業に派遣をしていると聞いていますが、それ以外に長期的スパンとしてどのようなことを考えているのかお聞きします。  
**回答** 「町長」 企業の誘致、人口の定住化を図るためには、町のイメージを上げる必要があるということです。ここで、長期的な視点で、教育の充実に取り組んでいきます。かなりの企業になるべく、中間管理層は小学生を抱えた家庭がほとんどになり、教育環境がどうであるかが、番の条件になるということ聞いています。そういった視点から、企業を誘致するには教育環境の充実を優先的に長期的な視点でやっていくことが大事だと考えます。また、色々な働きかけをしています。たくさんの方の企業誘致が決定したという状況ではありません。これは昭和50年代から、田川地区

を挙げて東京や大阪で企業誘致の働きかけをしてきましたが、実績が上がっていないことを考えます。企業誘致をやりつつも町内の特性を生かした起業、起業、これに力を注いだ方が、雇用、税収面の即効性があるのではないかと、福智町の産業の中心は農業です。農業を生かした起業ができないか、あるいはリサイクル関係の取組みができないだろうかということ、検討を進めています。また、今後高齢化が進めば、健康ブームという社会的状況がますます高くなってきます。そういったことをにらみ、製薬会社と連携を取りながら、薬草の栽培も視野に入れながら取組みを進めていきたいと思います。いずれにしても、教育という視点を大事にしなが環境づくりに努めていきたいと思います。

**女性の能力開発について**  
**質問** 現在、女性管理者は何人いますか。  
**回答** 「総務課長」 12月7日現在で、女性3名、男性25名です。女性の割合は11%となっています。  
**質問** 女性職員の配置状況をお尋ねします。  
**回答** 「総務課長」 普通会計でいいますと、係長は8人中女性が22人（割合25%）、主査は67人中49人が女性（割合73%）、主任主事39人中13名が女性（割合33%）、主事は34人中10人が女性（割合29%）です。

**質問** 職員全体での女性の割合はどのようになっていますか。  
**回答** 「総務課長」 医療職から全てあわせると職員総数344人その内151人が女性であり割合は44%となっています。

女性の計画的な任用・育成・研修等は考えていますか。

**質問** 「副町長」 職員の任用・昇任・研修等は男女関係なく公平公正にすべきだと考えています。したがって、特別な研修を行なうことは考えていません。  
**質問** 窓口対応が悪いという話が耳に入っています。が、どのような指導や研修を行なっていますか。  
**回答** 「副町長」 個別に指導にあたる事例もありません。ですが、全体として年2回、窓口対応の研修を行なっています。

**財政の長期見通しについて**  
**質問** 平成18年度、福智町住民1人あたりの借入金（債）が約100万円となっていますが、このことをどう考え、減らす手段はあるのかお尋ねします。  
**回答** 「町長」 数字については若干のずれが出ると思いますが、地方債残高は平成19年度末で約246億円になる見込みです。平成24年度末には177億円と見込んでいますが、施設の改築工事等で約10億円、15億円を見込んでいますので、約190億円前後に膨らむと考えています。  
**質問** 平成20年度の予算策定方針をお尋ねします。  
**回答** 「町長」 平成19年度当初予算額は136億円ですので、これを下回るよう予算編成をしていく予定です。



沼口富生 議員

**質問** 今後の財政問題についてお尋ねします。三位一体改革により、歳入である地方交付税が減額されていますが、合併協議の際、合併する市町村については減額をしないという話がありました。その点についてお尋ねします。

**回答** 「財政課長」 普通交付税は、基準財政需要額と基準財政収入額に分けられます。基準財政需要額には、元利償還、元利償還に対する交付税措置分があり、その他の分については国の計画により減額になります。しかし、元利償還、元利償還に対する交付税算入については、保証されています。元利償還は、平成22年度が一番多くなり、交付税に算入される分も増えるので、減額される分と増額される分、あわせると近年はそんなに交付税は落ちないと判断しています。特別交付税については、合併の財政措置として3年間、交付税措置されますが、平成20年度で終わるため、21年度には約1億5000万円下がる見込みです。

**質問** 町立老人ホーム天郷荘についてお尋ねします。決算特別委員会ときに報告を受けましたが、その数字と、今後の運営について。また、交付税に算入されている分があるのかお尋ねします。

**回答** 「町長」 平成18年度決算額は、歳入2904万8000円、歳出9116万7000円です。入荘者は町内8人、町外13人、合計21人です。経営的には非常に苦しい状況です。

**回答** 「財政課長」 普通交付税に算入はされています。しかしこれは、天郷荘の入荘者だけではなく、福智町の町民が他町の養護老人ホームに入っている分も含まれます。ただし、他町の施設へ入所されている方は、福智町からその町へ委託料を支払っています。

**質問** 運営費を概算で教えてください。

**回答** 「福祉課長」 職員人件費が5137万6000円、臨時職員の賃金が1820万7000円、物件費が2158万4000円、合計で9116万7000円の歳出です。歳入は、福智町内からの入荘者が429万6000円、町外の入荘者に伴う各市町村からの委託金が2475万1000円、交付税算入分が4500万円と見込まれていますが、直接運営費には入荘者の負担金2900万円が収入として上がっています。

**質問** 仮に50人が入荘した場合を計算しますと、年間1人あたり約204万円程度の色々な面で収入があると聞きましたので、単純にこの金額に50名を掛け合わせると、1億2000万円という数字が出ますので、歳出の9100万円はクリアできます。この天郷荘を運営するには、もちろん今の建物をどうするかという一番大きな



今後の運営が検討されている町立老人ホーム天郷荘

課題がありますが、運営上公設公営でやれると私は判断しています。そのところもぜひ検討をいただきたい、今後の運営にあたっていただきたいと思いますが、町長、考えをお願いします。

**回答** 「町長」 公的施設や公的機関の統廃合、あるいは今後の運営について、今月中に検討結果を出し、そして整理するというところで、最終的にはまだ結論を出していません。ご指摘のとおり採算が取れる運営が42人、43人ということであれば、現状の施設を利用すれば採算が取れる運営も今後見込めますが、現状は本当に建物危険な状況にありますので、改築という前提が入った中の取り組みになるかと思っています。そういったことも含めて、最終的な結論を出し、報告したいと思います。



堀江政洋 議員

**質問** 9月定例会に引き続き、保育所問題について質問します。9月定例会で第一保育所の存続を求める請願が提出され、本会議において採択となり、議会より町長へ意見書が送付されました。請願が採択されたことにより、第二保育所の保護者並びに弁城区は、町立として存続の方向で検討していただけのもと思っていました。また、9月の一般質問で町長は、お互いの接点をつけるために弁城区の総意はどうかと言っていました。また、弁城区保護者は当然公立として残してほしいという気持ちであります。しかし、11月に放送されたNHKのテレビ番組の中で、町長は、第一保育所の民営化」と発言がありました。請願について、また、地域住民の声を無視して強行するのか、町長は一体どのように思っているのか、お尋ねします。

**回答** 「町長」 請願が採択されたことについては、尊重をし、今後の検討の中では重要な位置を占めさせていただきたいと思っております。そこで数字を挙げてみたいと思います。まず、平成18年度の第一保育所決算は、歳入1442万7000円、歳出6515万6000円で約5100万円の赤字となっています。仮に中央保育所と統合した場合は、年間の人件費、賃金、運営費を含めて約3500万円が減となります。また、中央保育所と統合せず、現状の施設を使用した場合、かなり老朽化しているため建て替えが必要と

なり、その費用に約2億5000万円はかかるという概算を出しています。そうなったとき、一番財政的に節減できるのは、中央保育所と統合した場合で、毎年約3500万円が節減でき、10年間では約3億5000万円、そして建て替えをしなくて良いということで、建物費用を含めて約6億円が節減できます。また、旧金田町が財政再建時に上金田保育所を民営化しましたが、これは上金田行政区が保育所を運営するというところで、社会福祉法人の認可を取り、現在は上金田行政区がこの運営にあつています。民営化の際は、当面の運営費として約500万円、改築費で約5000万円を渡したということで、財政的な節減につながっています。数字的な説明をしましたが、第一の前提は、財政の節減、財政再建をいかにやっていくのかということですが、しかし、地域の皆さんの声や、あるいは子どもたちの環境づくりに向けては、最大限配慮もしなければならないと思っています。今後はそういった趣旨のもと、地域の皆さんのご理解をいただけるような話し合いを積極的に続けていきたいと思います。

**質問** 今後、地域住民の方と十分に協議をしてほしいと思います。次に公立保育所のあり方検討委員会についてお尋ねします。10月26日の話し合いの中で、保護者より、委員の中に第一保育所の保護者を増やしてほしいという意見がありました。町長は、「保育所問題は行政改革検討委員会の答申による」と説明しました。公立保育所の運営にかかる委員会は、7月に1回開催した以降、第一保育所・中央保育所の説明は何も聞いていないというところです。この委員会の位置づけ、今後この

**委員会をどのように考えているのかお尋ねします。**

**回答** 「町長」 今後、町立保育所の運営をどうするか、この委員会が検討していただくという前提があつた委員会でしたが、当面は、まず方城に2つある町立保育所を、私どもは1つに統合したいということで、第1回目の委員会で、この委員会を設けた趣旨を説明しました。そのとき、委員さんから自分たちも状況を十分把握していないし、例えば当事者の保育所、あるいは保育所の保護者、地域の方との話し合いを経て、もう一度そのボールを投げ返してほしいと、その投げ返しを繰り返す中で、自分たちも具体的な意見が出せるという意見でした。私どもとしては、ある程度、地元保護者の方々と話し合いをしてきたという認識をしていますので、その状況報告を含め、委員会を開催したいと思っています。



毎年、地元が力士を呼び、子どもと触れ合い体験を行っている第一保育所



渡邊文敏 議員

**質問** 各行政区から陳情並びに要望が出たときの対応等についてお尋ねします。

**回答** 「町長」 要望があがってきて、区全体の総意でない場合が中にはありますので、そのときはその都度関係先と協議しながら対応しています。

**質問** 地域の要望書が地域総意ではない、そういったことがあると発言しましたが、どういったことでしょうか。

**回答** 「町長」 そのようなことに遭遇した例もありませんでしたが、地域と十分に話し合いを進めながら理解をいたしたく、そういう話し合いはさせていただいております。

**質問** 各地区からの要望については、文書で回答していますか。

**回答** 「町長」 ききとった文書での回答がないという指摘を、今まで受けましたので、これから文書できちんと対応します。

**質問** 平成18年度に発注した、上金田地区の高見町糸田線道路改良工事についてお尋ねします。

「町長」 地元行政区が連名で要望書を出していただき、それを受け入れ、道路使用許可も取れていますが、隣接する地権者の方の同意が取れておらず、この工事の契約を解除したと聞きました。なぜ

同意が取れていないのに工事を発注したのか、また契約を解除する際、なぜ地元行政区に何の相談もなかったのか、町長、お尋ねします。

**回答** 「町長」 行政区から要望はいただきましたが、最終的の局面で隣接者の方が反対をしたというので、区全体の総意にならなかったという判断のもと、工事を断念しています。

**質問** 上金田地区のボタ山下の踏み切り付近の工事についてお尋ねします。これは建設課と水道課、2つの工事が発注されています。この土地に隣接している地権者には、何の説明もなく同意もしていません。また、地元行政区は町に何らかの無視をされたため、町には一切協力をしません、広報も配布しません、公園の掃除もしません、区長、組長は手当てもありませんか、と言っています。どうするのですか、町長。

**回答** 「町長」 町民の安全と生活を守るためにこの工事に着手しています。区の問題については、最大限誠意を尽くして取組みをしていきます。

**質問** 解決していない問題があるのに、工事だけ先に終わって、今から話し合いをしようかと、誰がしますが、10月に地元行政区からは建設課がした工事についても一度撤去しろと出ています。町長、お答えください。

**回答** 「町長」 地元からあがってきた中身は十分クリアしているかと判断して、その後推移をさせていただきます。

**質問** 出た回答書には、懸案事項で書いています。あなたの決裁印もあります。この問題は片付いていないから、問題が出てきている。上金田行政区の組長全員の名前が載り、抗議しています。この水道事業を計



池永利治 議員

**質問** 職員、臨時職員、パートを含む倫理規定について、考えをお伺いします。また、その方たちが職場外で特定の政治活動を行なっているものか併せてお伺いします。

**回答** 「町長」 正規の職員はもちろん、臨時、パートを含み、福智町の職員倫理条例及び規則によって守らなければならないことを制定しています。職員は、地方公務員法、あるいは福智町の倫理規定等を遵守しながら日々の勤務に努めなければならないと思っています。なお、臨時、パート職員が勤務外に政治活動ができるのかどうかということですが、憲法でも保障されていますように、勤労の権利、公共の福祉に反しない限りは生活、つまりは幸福の追求ができるという個人の尊重もうたわれています。こういった憲法のもと、先ほど申し上げた地方公務員法、福智町倫理規定等に反しないということ、私どもも日常の指導はしています。しかし、公職選挙法の中で、地位を利用しての選挙活動の禁止がうたわれていますが、地位利用でない限りは、選挙運動は妥当だと判断しています。

**質問** 町長の後援会会長の名前と職業を尋ねます。

**回答** 「町長」 私の後援会の会長は、K氏で現在、コスモス診療所でパートとして、運

転関係の仕事をしています。

**質問** 9月29日に旧方城町の伊方地区で、浦田弘二町政報告会がありました。このとき、後援会長が、官製紙袋でつむった町の損害金5500万円は国に返納しなければならぬ、この金額は町民の税金から支払いされることになる。不正を働いた業者にかわってどうして町民が払わなければならないのか、町民の代表である町議会議員さんが反対される真意が理解しかねますと、また、3町が合併して新しい町が誕生したので、昔の悪弊を断ち切って、町民のための政治を取り戻すチャンスとしなければなりません。と言いき、いかにも反対した議員が悪く、悪をばらまくような後押しをしているというようなことを言っています。そして、反対した議員、賛成した議員というふうに文書を出席者に配っています。そこでもつお聞きします。これは赤池町で起きた問題です。合併協議会の中で、何ら申し込まれておらず、継続されてもいない、合併後1年間も審議されず、6月に市場床工事が新聞沙汰になると、突然これをあげてきた。そして、町政報告会で町長は、後援会長が返還について虚偽の報告をしているのに、それを後押しするようなことを言っている。あなたは弁舌さわやかに、色々なことをしゃべり、答えますが、陰に回ったときは独裁ぶり、言いたい放題言っ、恐怖心すら覚えます。また、この議案を出したとき、後援会長はある議員に対し、これを否決すると町民から訴えられますよ、特定の人に仕事をやるから賛成してくれないか、と運動して回っているまでを説明してください。

**回答** 「水道課長」 平成18年に漏水調査をしたところ、ボタ山下の踏切から漏水をいたしました。

**質問** 平成18年に漏水調査をし、入札をしたのが19年の5月、なぜこの間に、地元で漏水の説明をしなかったのですか。町民の信頼を得るために今後どうしますか。

**回答** 「町長」 今後とも誠意を持って話し合いをしていきたいと思えます。

**質問** この工事は止めるんですか、それとも撤去するんですか。

**回答** 「町長」 行政区との意思疎通が欠けていたということを謙虚に反省し、工事については時中断をし、地元と誠意を持って話し合いをしていきたいと思えます。

**質問** 教育関係についてお尋ねします。4月に全国音学カテスタが実施されましたが、福智町は全国的にどのようなレベルにありましたか。

**回答** 「教育長」 学校の序列化、過度の競争意識を助長する恐れがあるため、公表していません。しかし、一人一人の個別表は配ることにしています。

**質問** 行財政改革を進めている中で、教育関係だけで約30人もの臨時職員を雇用し、7000万円が増額となっていますが、それなりの責任は感じていますか。

**回答** 「教育長」 非常に重く受け止めています。今が計画の2年次なので、来年度までではぜひ続けさせていただき、成果が表れなければ、この制度も皆様からの理解は得られないと思っています。

**質問** 「赤池支所長兼地域振興課長」 旧赤池町において、補助金等の返還はありませんでした。

**回答** 「町長」 赤池支所長兼地域振興課長、旧赤池町において、補助金等の返還はありませんでした。



福智町規集の中で、福智町職員倫理条例等が制定されています



浦田光由 議員

**質問** 獺ヶ谷について、その後の進捗状況をお尋ねします。

**回答** 「建設課長」 10月に町としての判断、回答を相手に示しています。

**質問** 町民から町が提訴されるという話も聞きましたが、どのようにお考えですか。

**回答** 「町長」 もし現実にあつた場合には、町民の方に被害やマイナスの部分を与えたということであれば、率直にそのことに対してきちんと対応していく必要があると認識しています。

**質問** 町長の行政報告会で、町長は、いわゆる町長が押す印鑑、最後の決裁印を、100%わかっているような過程を踏んでどうするか、ということがわかった上、実は全て押しているわけはありませんと言っています。100%わかからず、あなたは決裁印を押しているんですか。また、報告会で、この2つとも残念ながら官製談合ということで裁判・・・そういう事件に発展をされましたと言っていますが、官製談合だけでは

**回答** 「町長」 一方は官製談合、もう一方は官製談合と贈賄で、起訴された件は違います。

**質問** 報告会の中で、入札の落札率は90%が妥当だとも言っています。しかし、旧赤池町長時代には45件中43件が90%以上、福智町では平成18年度に99件中84件が90%以上の落札です。これは全て官製談合ですか。お答えください。

**回答** 「町長」 このような傾向が高いというので、今年から入札制度の改革を行なっています。また、公正取引委員会や警察の調査、裁判所の資料をもとに6月議会、9月議会で提案をしています。

**質問** 6月・9月定例会で建設会社を相手取り、損害賠償請求の訴訟を提起するために提案をし、否決されました。そのことについて町長は行政報告会で、このことについて否決されました。町民の方の税金を余計に出したのに、それを取り戻そうとすることに反対したわけですか。私は、このことについては本当におかしいなと、またおかしいと思ってもえる町民の方にやっぱり立ち上がってもらわなければいけません。そう思います。町民の方の代表である議員がこういうふうなことに反対をする、私は絶対に理解できないし、またそのことについて、ぜひ今日お集まりをしていただいている町民の皆さんには、大いに怒ってもらいたい。そしてそういうことを絶対に許さない、ぜひそういう環境づくりをしていただきたい、と言っています。あなたは、どういった環境をつくらせようとしていたのですか。政策に絶対反対をしない議員をつくらうとしていたのですか、お答え願います。

**回答** 「町長」 確かに読み上げたとおり、私は申し上げました。しかし、私は官製談合

そのものを許さない、そういう町民になってほしいということ、舌足らずになつたかも知れませんが申し上げた。そういう意味の環境づくりをしてほしい、という意味で申し上げていますので、そのようにご理解いただきたいと思います。

**質問** 官製談合ができない環境づくりと言いましたが、官は職員、あなたたちが戒めたらいいのではないですか。町民の方に職員全員を見張ってほしいということですが、議会は審議する側です。町民から選挙によって選ばれてこられます。その方たちの代表としてここで物を言っています。その方たちまで否定するようなことを言っています。また、この報告会の中で町長の後援会長が、5500万円の返納が起りましたと言っていますが、会計監査が入り、返納義務が生じていますか。お尋ねします。

**回答** 「財政課長」 補助金についての返還は、今日までそういう話は来ていません。

**回答** 「赤池支所長兼地域振興課長」 赤池時点で監査を受けたとは聞いていません。

**質問** 後援会で話すときは自覚を持って、正確な数字が町民に渡るよう、公平を持って報告してくれませんが、国からまだ何も返納義務が生じていないことについて、町長、お聞かせください。

**回答** 「町長」 5500万円を国に返還するという発言は、明らかに間違いでした。また、後援会の二コーズで町民の方に、会長のお詫びの文章を掲載するように手続を進めています。



杉本数男 議員

**質問** 杉本です。町長に質問をさせていただきます。福智町は、自主財源がとてでも、経常比率がなんと100.7%です。本来なら70%から80%ぐらいが好ましいとされています。そこからすると最悪です。ご存知のように町の自主財源は約22%、後の78%は国や地方に依存しています。ずっともたれかかったままの財政を進めていくと何時かは詰ると行きつまずります。そしてこの財政に追い討ちをかけるように税等の滞納が約31億円もあります。私は先日、岡山県浅口市に議員研修で訪れました。税の滞納問題から質問をさせてもらいましたが、聞くほどにびっくりしました。見事完納されて、最後に給食費の滞納はと尋ねましたところ、小中学校で2928人の中で1人だけいます、事情があつてこのことでした。人口は3万7327人、福智町より1万とちょっと多い市です。行政と町民が一体となって、住みよい町をつくらうという気持ちで立ち上がっているかということを感じました。福智町は行政と町民の皆さんに距離があるのではないかと気がしてなりません。原因は何でしょう。本当に町民と行政が一体ならば31億円もの滞納があるはずがありません。行政改革とは私は心だと思えます。町民の皆さん

と心の交流ができていくかどうか、もう一度行政も、私たちも町民のためにあるということを確認も含めて、ここそのときを迎えているのではないかと、ここに行政改革の鍵があると思います。町長、財政の金庫番はどなたですか。

**回答** 「町長」 最終的には私だと認識しています。

**質問** 町長、そうでしょうか、そこが違っています。金庫番は町民でしょう。町長始め私たちは町民の皆さんに選ばれ、住みよい町づくりを真託された一人ひとりです。町民の目線に立つて、本気になって取り組んでもらいたいと思います。また、31億円の滞納問題ですが、悪質な滞納であれば、厳しく対応していただきたい。しかし、払う気持ちはあるけれど仕事が終わらないうちに、生活を立て直し、1銭でも払いたい、そのような方たちのためにも、福智町が一体となって働く場づくりに力を入れてほしいと思いますが、町長どうでしょうか。

**回答** 「町長」 行財政改革、いろんな視点、いろんなパターン、そういうものがあると思えます。やはり町民の方々がいかにか満足をして、この地域で住んでいただけるか、こういった視点を行政改革の基点に据えながら、積極的にいい町づくりに向けて努力をしていきたいと思っています。

**質問** 9月定例会で、町道ではなく住民の方の所有地を通して行く施設があるということ

とで一般質問をしましたが、今後どのような手を打っていかれるのかお尋ねします。

**回答** 「町長」 現地を確認をしました。その施設が、今後は整理をし、その施設が当初つくられた目的のとおり有効に活用できているかどうか、そういった視点も含めて総合的に判断をしていきたいと思えます。

**質問** 発達障害児の教育支援を国が打ち出していますが、今後は、このようなものを利用しながら進めていきたいと思えます。また、旧頼田町が教育特区を申請し、実績を積んでいます。費用の捻出が困難なため、今期でやめるという新聞報道を見ました。福智町は大丈夫でしょうか、教育長にお尋ねします。

**回答** 「教育長」 発達障害児の教育支援ですが、率先して手を挙げて、特別支援教育体制推進事業という指定を受けて、コーディネーター等を学校に派遣し、障害を持つ子どもたちのサポート、接し方等、教職員の研修にも力を入れています。また、身体に障害を抱えている子どもにつきましても、個別のサポートとして介助員を臨時職員として措置しています。また福智町では、少人数学級は、本年4月から本格実施をしています。教育効果については各学校が実施している標準学力検査に基づいて検証を進めるよう、方向性を明示しています。



皆川高司 議員

**質問** 市場小学校屋外運動場に関する請願が今定期例会に出されております。給食センターを早期に移転し、正規な運動場を早くつくり、整備を実現させてくださいという内容ですが、この請願が出されたことに対して、町長、率直な気持ちをお聞かせください。

**回答** 「町長」 市場小学校給食センターの絡みもありますが、子どもたちが正規の運動場を使えず、長期間そのままになっていますので、早急に現状を解決していきたいと思っております。

**質問** 「教育長」 9月定期例会の総務文教常任委員会で、給食センターの予算案を審議した際、規模や予算面で説明不足等があり、本会議には上程しなかった経緯があります。今後は一刻も早く、着工していきたいと思っております。

**質問** 赤池地区に給食センターを建てた場合、また方城も古いので建てないといけない、そのうち金田も古くなる。町ぐるみで財政改革に取り組んでいる今、福智町全部、8校を賄える給食センターも考えてみてはと思っております。また、市場小学校において、児童に体力をつける体育の授業は大変重要だと思っております。一日も早い運動場の着工をお願いしたいと思っておりますが、再度考えをお聞かせください。

**回答** 「町長」 早期に解決するように、全力を挙げ、頑張っていく予定です。

**質問** 福智町には指定管理者制度をとっている施設はいくつありますか、またその内容等をお尋ねします。

**回答** 「財政課長」 平成19年8月時点で、ふじ湯の里、代表取締役、浦田弘二(日王の湯)理事、長、浦田弘二(上野の里)ふれあい交流会、組合委員長、平川(福智町福祉会)会長、浦田弘二(福智町)がおります。任期は平成22年3月31日までとなっております。

**質問** 町民参加(参画)のまちづくりという観点から見て、町長が指定管理者になることは、何か不自然に感じます。町内には、有識者・適任者が数多くいると思えますが、考えをお聞かせください。

**回答** 「町長」 民法108条に自己契約及び双方代理といふのがあり、双方が事前に了解している場合、あるいはあらかじめ決められた行為を形式的に遂行する場合、あるいは双方代理という制度を取り入れても危険が生じないとなっており、法には触れませんが、町民の方々にきちんと理解していただくために、私も私も定の時期が来したら判断をしたいと思っております。

**質問** 次に、社会福祉協議会についてであります。この社協も町長が会長になっております。そこでお伺いします。会長を引き受けられたときに、さき言ったように不自然さを感じませんでしたか？

**回答** 「町長」 私が昨年6月1日から社会福祉協議会の会長ということで、就任しております。現在、社協自体、財政縮減ということを目的に検討を進めており、そういった取組みを私としまりたいたいということ、会長を引き受けられた経緯があります。しかし、そういう区切りがつけば、私のほうは判断をして

いきたいと思っております。

**質問** 先日、社協で使用している油の入札が計画されていましたが、町民の意見によって中止になったという話を聞きました。また選挙も絡むということをその方は言われたと聞いています。経費の削減ということでも話し合っている最中に、母体の社協がこういうことではどうですか、社協という場を、目的と逸脱した政争の場、選挙の場に使ってしまっている。町長、考えをお聞かせください。

**回答** 「町長」 対象となる方たちへ事前の説明をしなかったという反省のもと、今回は入札を延期しました。

**質問** 福智町の農業についてお尋ねします。ご存知のように、今年には本当に雨が少なく、山間部では水不足によりほとんど収穫がありませんでした。特に、土井城地区では反あたり3.3俵とが、そんな数字だったそうです。そこで、地域の代表の方々から陳情も受け、陳情書も出ています。そのようなことを受け、農業ができる環境づくり、業として成り立つ環境づくりということで、町長の考えをお伺いします。

**回答** 「町長」 町内多くの課題が出てきていますので、早く解決できるように、今後とも努力をしていきます。

**質問** 平成20年度より工事以外の委託業務、物品に於いて、般競争入札実施に向け検討していきたいと思っておりますが、お考えをお聞かせください。

**回答** 「町長」 現在、鋭意実施できるよう検討を進めていきます。



植田年昭 議員

**質問** 野生の猿が、方城地区の広谷・上井城・長浦地区の畑に多大な被害を与えています。どう対策をとっていますか。

**回答** 「産業振興課長」 地元から連絡があり次第、職員が現地に行き、被害を最小限に抑えるためエアガン等で山林の方へ追い返しています。

**回答** 「町長」 現在、田川郡猿等被害対策協議会(田川郡7町村で構成・香春町が事務局)の町村長が定期的に集まり、国の助成措置がでないか相談をしています。

**質問** 被害にあっている農家、長浦地区の方に話を聞きますと、農家の方が精魂を込めて作った野菜(人参・大豆・白菜・キャベツ・キュウリ等)が出来あがった頃に、約30~50匹、多いときには100匹の猿が来て、全てかじっていくそうです。納屋に入れた農作物(玉ねぎ、かぼちゃ等)は、抱え持て山へ逃げる。地元の方は、外柵を設けて電流を流し対処しているが、1箇所約10万円かかるため、どうにかならないうつかという話でした。

香春町に行き、どのような対策を取っているのか聞きましたら、巡視員を3名雇用し、ほぼ1年中巡視している。猿に発信機をつけて行動範囲を確認している。エアガン約30丁・ゴム銃約300丁を町民に貸している。柵に電流を流して

いる土地には一部補助をしている。爆竹を町が保管し、町民がきたときはそれを渡している、ということでした。

農家の方にこれから先、何が一番必要か聞きますと、今のところは電流を流して柵をし、農作物を確保することが一番良く、また、野生猿が増えないように去勢をしてみたいと、また、電流を流す柵に補助ができないだろうかという話でした。地域の方たちは、大豆や麦などを作ってみたいという、被害に遭うのもう作ってくれ方がないということ、農家にとっては田畑が命です。町長の考え方を伺います。

**回答** 「町長」 国の助成措置も講じられる見通しは出てきましたので、それも踏まえながら、被害に遭われた方の意見をいただき、地元の方ともご相談をしながら、検討を進めていきたいと思います。

**質問** 町長は平成19年の3月議会で、町内の公的機関の経営改善や公的施設の統廃合を早い時期に結論を出す、と施政方針で述べましたが、今日まで結論を出した姿が見えませんが、特に方城支所をどのような形で活用を考えているのか、お聞かせください。また、地域の町民は、何かの集まるような施設に変えてもらいたいという要望がありますので、よろしくお願ひいたします。

**回答** 「町長」 平成19年12月末くらいには、公的施設等を含めてどうするかという結論を整理・集約をして、来年早々には報告・説明会をさせていただきたいと思っております。ただ、方城・赤池の支所機能は、非常に大事な機能という認識をしておりますので、そういった認識のもとに最終的な結

論は出していききたいと思います。



猿を追い払うために使用しているエアガン



エアガンで猿を山へ追い払っている産業振興課職員



猿が多く出没している長浦地区(方城)



# 福智町議会レポート

## 福智町議会視察研修報告 ~ 先進地に学ぶ ~

平成19年11月19日・20日に、岡山県浅口市へ視察研修に行きました。  
浅口市は、平成18年3月に三町が合併、人口は約3万7千人、面積は66.46km<sup>2</sup>で、合併時期や規模が福智町と類似しており、堅実な行財政改革を行っているということで、今回研修地に選定しました。  
浅口市の議長や各課長から説明を受け、質疑を行い、主な取り組みとして、合併の数年前から職員採用の抑制を行い、現在は同規模の自治体より職員数が少なくなっている。公共施設の数も少なく、十分活用されている。合併後、乳幼児医療の助成を10歳未満まで延長した、などの施策を聞きました。  
今回の研修を活かし、今後の町政に反映させていきたいと思っております。



## 石川県能美市議会が来町 ~ 福智町に学ぶ ~

平成20年1月15日、石川県能美市議会の議員6人が行政視察で福智町を訪れました。  
能美市は、平成17年2月に三町が合併してできた、人口約4万7千人の市です。今回の視察目的は、福智町が旧町時代に赤字再建団体を経験したときの実態と取組みについてです。旧赤池町財政担当職員が約1時間半にわたり説明を行いました。議員から「再建団体について、町民の意識はどうだったのか」など、多くの質問があり、研修を終えた議員6人は『能美市は、現時点では財政的にひっ迫したものではないが、先を見据えた今後の課題として議会で取り組んでいきたい』と語っていました。



## お詫びと訂正

vol.1号で、誤りがありましたので下記のとおり訂正します。誠に申し訳ありませんでした。

総務文教常任委員会報告で、〔学校給食センター改築工事〕に関わる補正予算については否決とありましたが、『**執行部が取り下げとしました**』に訂正します。

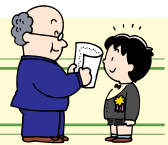
日比生洋一議員の所属委員会の紹介で、議会運営委員会が掲載されていませんでした。

## 議長雑記帳



福智町が誕生してもうすぐ2年、今の議会の体制になって9ヵ月が経とうとしています。新体制発足直後は議員同士のコミュニケーションも取りづらく、ぎくしゃくした面もありましたが、時を重ねるにつれ、少しずつ気心もわかってきました。福智町は今たくさんの課題を抱え、懸案の行財政改革もなかなか思うように進んでいませんが、議員同士、率直な意見を交わしながら、少しでも早く自分で歩ける町になれるよう、努力をしたいと思っています。  
(道人)

## 編集後記



3月は卒業シーズンです。旅立ちと出会い、夢と希望に溢れるシーズンです。親元を離れ、一人暮らしを始める人は、今まで親がしてくれたことを自分ですべてしなくてはなりません。また、新しい環境に慣れるまでの不安もあると思います。そんなときに親のありがたさがわかってくるのではないのでしょうか。親とすれば、愛情を注いだ子どもとの別れで、不安や寂しさ、子どもの成長に対する期待と複雑な心境だと思います。

人は、別れと出会いを繰り返し成長していくものです。苦しいとき、悲しいとき、色々な場面でふるさと・家族・友だちを思い出してください。必ず大きな力になると思います。旅立つ若い人にエールを送ります。  
(堀江)